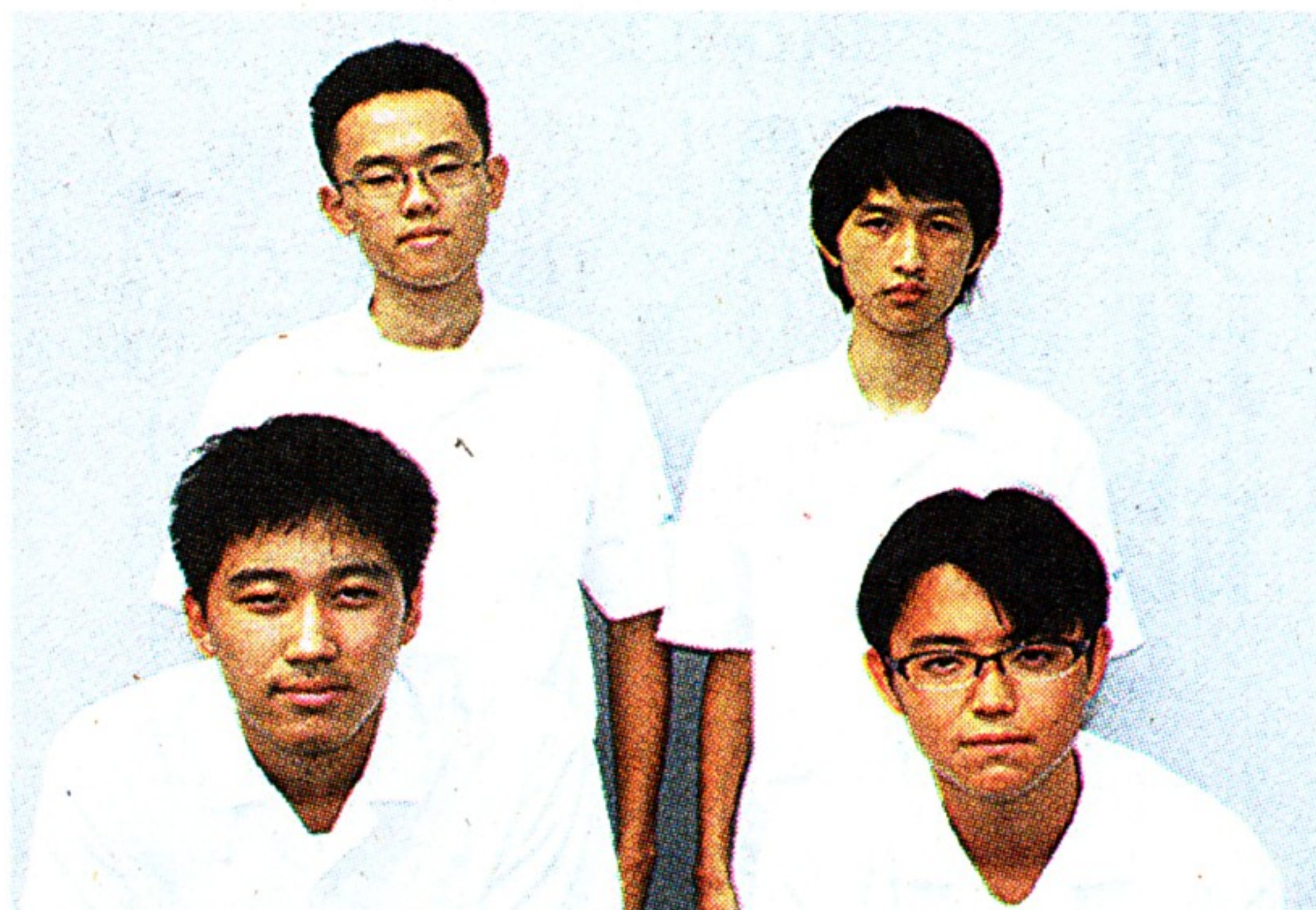
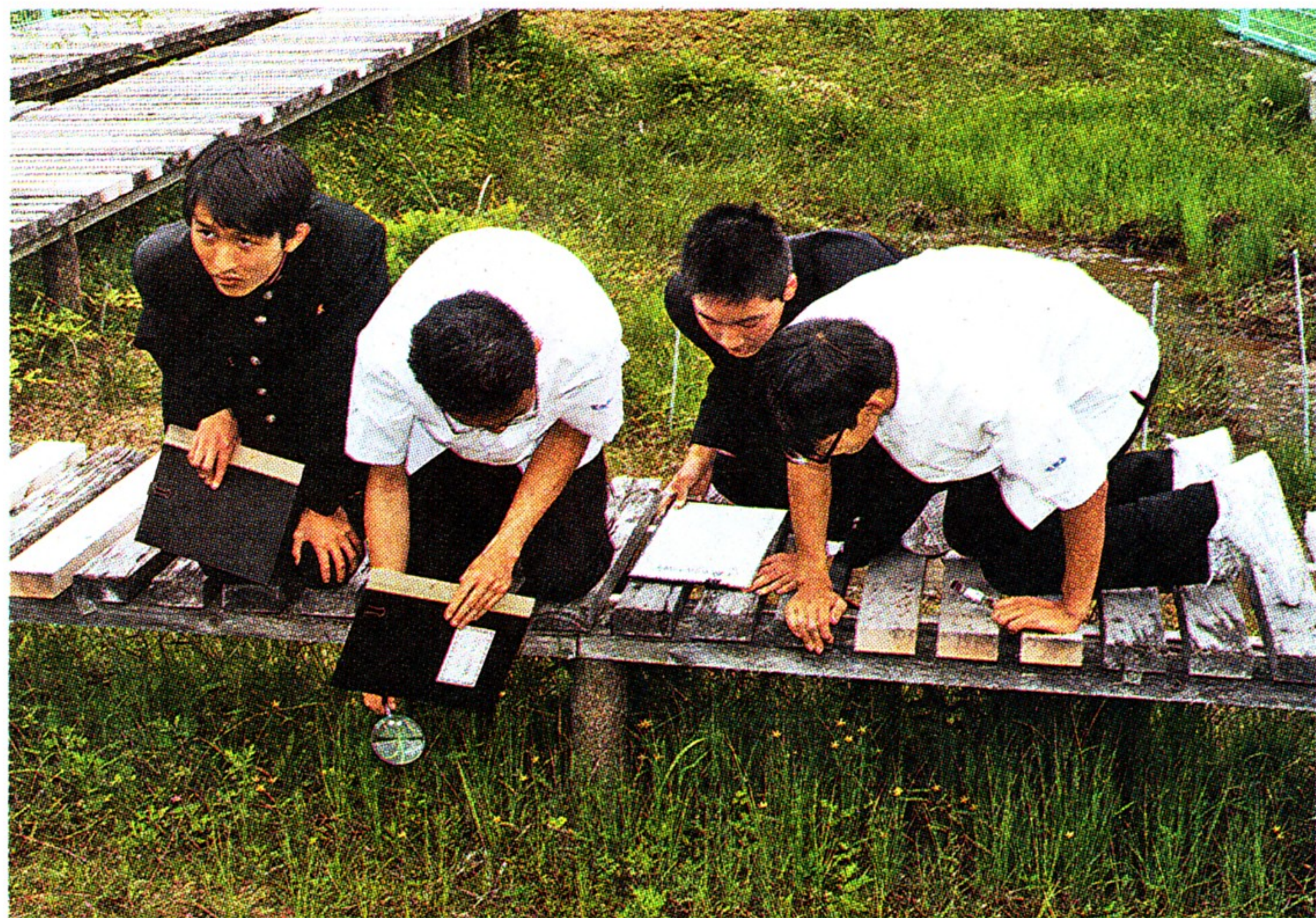
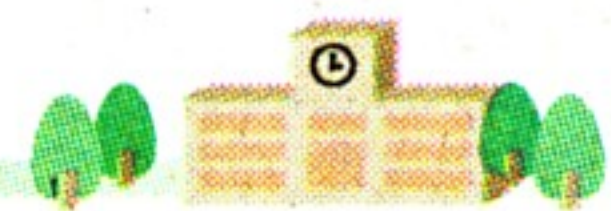


豊明高

学び舎

レポート



①ナガバノイシモチソウを観察する生徒ら＝豊明市の豊明高近くの自生保護地で ②レポートしてくれた皆さん＝同高で

# 保全活動で環境学ば

豊明市の豊明高校 教育大の渡辺幹男教授 活動を担いました。近  
 (木村一郎校長、九百 イシモチソウ」の保全 の下で遺伝子解析や保  
 四十一人)は、二〇〇 に取り組んでいます。 全活動のあり方を学び  
 九年度から県の絶滅危 一一年度までは、十 ました。一二年度は環  
 惧植物に指定されてい 数人の生徒有志が愛知 境委員会のメンバーで 公開で説明したりしま

した。

自然や環境よりも経  
 済を優先するこれまで  
 の考えは、多くの生物  
 の絶滅を招いてきまし  
 た。保全活動を通じ、  
 生物多様性の意味につ  
 いても考えました。た  
 だ数を増やすという保  
 全のあり方には問題が  
 あることにも気付いま  
 した。

一般公開では、毎年  
 多くの方が関心を持っ  
 て観察にいらっしやい  
 ます。個人で保護活動  
 に取り組むのは難しい  
 ことですが、多くの入  
 の意思があれば、少し  
 ずつ豊かな自然を取り  
 戻すことも可能だと感  
 じています。今後も保  
 全活動を継続し、環境  
 問題に関心を向けてい  
 きます。

(3年・丸山大輝、  
 堀江史明、2年・島田  
 一馬、1年・山本惇平)